

1. 実況上の着目点

- ① アリューシャンの南を発達した低気圧が東北東進し、大陸にある高気圧との間で、日本付近は冬型の気圧配置が続いている。日本付近では気圧の傾きが大きく、やや強い風や強い風が吹き、波が高くしけとなっている所がある。
- ② 500hPa -27°C以下の寒気を伴う5400m 付近のトラフが東～西日本を通過中。北日本～西日本日本海側では1時間に5～20mmの雨量を解析、局所的に雷を検知。北～東日本の山沿いでは3時間に5～10cm前後の降雪を観測。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 24日は、1項①の低気圧がアリューシャン近海に進み、大陸の高気圧が黄海付近に移動。24日夜には、西～東日本に高気圧が張り出し、冬型の気圧配置は次第に緩む。
- ② 25日は、日本付近は2項①の高気圧に覆われるが、25日夜には500hPa -33°C以下の寒気を伴った5280～5400mのトラフに対応する低気圧が、前線を伴いながら沿海州付近から日本海北部に進む。26日は、この低気圧が発達しながらオホーツク海に進み、低気圧からのびる前線が北～東日本を通過。その後、日本付近は次第に冬型の気圧配置となり、日本海に顕在化するシアーラインが北陸地方に南下する。
- ③ 850hPa -6°C以下の寒気は、24日は東日本付近に停滞、25日は北海道地方に北上、26日は東～西日本日本海側に再び南下する。また、500hPa -30°C以下の寒気は、24日は北陸地方に停滞し、25日は津軽海峡付近に北上、26日は北陸地方に南下する。このため、北日本と東日本日本海側の山沿いでは、26日は再び降雪が強まり、大雪となる所がある。大雪による交通障害や路面凍結に注意し、着雪、なだれに注意。
- ④ 2項②の低気圧や前線の影響により、大気の状態が不安定となる所がある。北～東日本では26日にかけて、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。
- ⑤ 冬型の気圧配置や2項②の発達する低気圧の影響で気圧の傾きが大きくなり、全国的に26日にかけて、やや強い風や強い風が吹いて、波が高くなりしけとなる所がある。強風や風雪、高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点

総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項 [量的予報等]

- ① 雨量(18時からの24時間)：多い所(100mm以上)はない。② 降雪量(18時からの24時間)：多い所(注意報級以上)はない。③ 波浪(明日まで)：東北・伊豆諸島・北陸4、北海道・近畿・中国・沖縄3m。

5. 全般気象情報発表の有無

発表の予定はない。